

平成 24 年 3 月 16 日

各 位

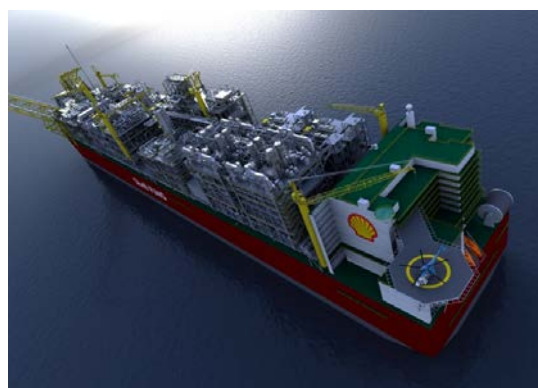
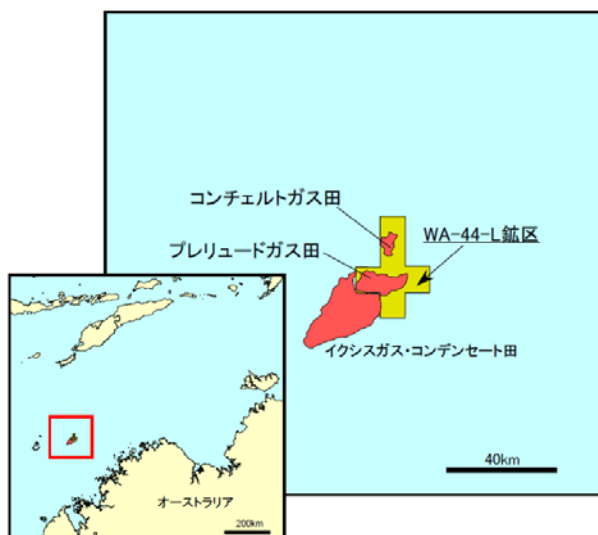
会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号	03-5572-0233

## オーストラリア プレリユードFLNGプロジェクト シェル社からのプロジェクト権益の取得について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社のINPEX Oil & Gas Australia Proprietary Limitedを通じて、Royal Dutch Shell plc社（以下、シェル社）の子会社であるShell Development (Australia) Proprietary Limited（以下、SDA社）がオーストラリア連邦西豪州沖合WA-44-L鉱区にて開発中のプレリユードFLNGプロジェクトに関し、このたび、SDA社から本プロジェクトの17.5%の権益を取得することについて合意しましたので、お知らせいたします。

なお、今回の権益取得は、オーストラリア政府の承認を含む権益譲渡契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となります。

プレリユードFLNGプロジェクトは、西豪州ブルーム市の北北東約475kmの沖合に位置するプレリユードガス田およびコンチェルトガス田より、年間360万トンのLNG、年間約40万トン（ピーク時）のLPGおよび日量約3.6万バレル（ピーク時）のコンデンセートを浮体構造に天然ガス液化設備を搭載したフローティングLNG（Floating LNG：FLNG）方式により生産・液化・出荷するプロジェクトです。シェル社は、オペレーターとして、2011年5月に世界初のFLNG方式によるプレリユードガス田およびコンチェルトガス田の開発についての最終投資決定をし、現在開発作業中です。2007年初めのプレリユードガス田発見からおよそ10年での生産開始を目標としております。



プレリユードFLNGプロジェクト FLNG 船イメージ

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

当社は、インドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区アバディガス田の開発において、LNG事業に関する世界的なリーディングカンパニーであるシェル社を戦略的パートナーとして選定し、現在、同社他とともにFLNG方式による開発準備作業をオペレーターとして実施しております（アバディLNGプロジェクト）。当社のプレリユードFLNGプロジェクトへの参画により得られるFLNGに関するシェル社の経験・知見を活用することにより、当社アバディLNGプロジェクトを一層着実に遂行できることが期待されます。本プロジェクトへの参画は、アバディLNGプロジェクトをはじめとする当社とシェル社との広範な協力関係をより一層増進するものとなります。

当社はオペレーターとして最終投資決定をしたイクシスLNGプロジェクトをはじめ、インドネシア・ボンタンLNGプラントに天然ガスを供給している東カリマンタンマハカム沖鉱区、東チモールとオーストラリアのチモール海共同石油開発地域におけるバユウンダンLNGプロジェクト、インドネシアのタンゲーLNGプロジェクト等へ参画し、またカナダシェールガスプロジェクトへ参画を決定しておりますが、本プロジェクトへの参画により国内外で需要が高まるクリーン・エネルギーとしての天然ガス（LNGを含む）事業における当社の事業展開が更に強化され、当社のプロジェクト資産のポートフォリオが一段と充実します。

当社は今後も、オーストラリアをはじめ、アジア・オセアニア地域での事業展開に積極的に取り組んで参ります。

なお、本件による業績への影響は軽微であります。

以上